

ヤマユリ通信 芽吹号

麻生区地域課題対応事業 麻生ヤマユリ植栽普及会 H23. 6. 23 発行 Vol.3-1



◆もくじ◆

- >第8回 ヤマユリ鉢植え講習会（種まき編）・・・・・・・・・・・・・1
- >4～6月植栽地便り 昨年以上に順調、もうすぐ開花！・・・・・・・・・・2
- >連載：ヤマユリ今昔① 「日本人とヤマユリ」・永留真雄・・・・・・・・3
- >地域の取り組み 県立百合丘高校 “ユリいっぱい校庭にしたい”・・・4



「ヤマユリのデリケートさや育ち方などの特徴がよくわかった。その生長ぶりを観察しながら育てることが

楽しめるのが楽しみになった」と、参加者アンケートによると、

この時節、ヤマユリの発根種を使った鉢植え講習会を、区役所を会場に開催しました。恒例化しつつある当講習会に今年も定員の2倍を超える応募者があり、区民の根強い人気イベントとなってきました。

第8回 ヤマユリ鉢植え講習会（種まき編）
開花まで5年もかかるヤマユリ
“育てるのが楽しみになった”



「ヤマユリの球根はどれ？」という質問に答えるべく、講師・支援者をメンバー14名で分担して進めることができ、例年以上に参加者の満足度の高い講習会となりました。

今年は、講師・支援者をメンバー14名で分担して進めることができ、例年以上に参加者の満足度の高い講習会となりました。

ヤマユリ開花案内

7月初旬が見頃ですよ



注：初夏の緑地ですから、虫さされ防備支度でお出かけください

- ◎年に一度の花見時◎
- 7月初旬から中旬にかけてヤマユリが開花する時節となります。
- 直径20数センチもの大輪の花が咲き香り漂う緑地を、散策されませんか。我がふるさと自慢の花の写真を、知人に送られては如何でしょう。
- ◆ヤマユリ植栽地区での見頃は、例年ですと左記の通りですが、今年は天候不順で開花が遅れ気味です。
- △王禅寺地区△ 王禅寺すぎのき緑地、下麻生まつの木緑地：7月8日頃
- △万福寺地区△ おやしる公園（十二神社東側緑地）：7月10日頃
- △岡上地区△ 梨子ノ木緑地：7月10日頃
- △細山地区△ 授産学園（授産学園緑地、およびログシヨップ裏）：7月12日頃



王禪寺地区（定例作業日 毎月第三水曜日午前九時～一一時）
この地区には二カ所に植栽地があります。そのひとつは、五年目を迎える、三つの斜面に植栽してきました。うち一つの斜面は、子供達の滑り台と化し壊滅状態ですが、他の斜面のヤマユリは、今年も順調に生育しています。

もう一カ所の**王禪寺すぎのき緑地**は、四年目を迎え、杉の茂る暗い緑地でした。昨年からはポランティア「木こりの会」のみなさんと協力しての枝打ちや多量のガラス瓜の駆除に汗を流し、快適な緑地になってきています。球根、種、木子の芽吹きも順調で、開花が楽しみです。

岡上地区：
岡上梨子ノ木緑地（定例作業日：毎月第二日曜日 午前九時三〇分～一一時三〇分）



万福寺地区：
十二神社の鎮座する「おやしる公園」の緑地（作業日適宜）
昨年の秋、現植栽地の東側に荒れていた緑地を整備して二〇球を追加植栽しました。全体的に芽吹きも順調で育っていましたが、薬剤散布が遅れたためか誘導路沿いの株五本がアブラムシの被害にありました。

春先には、クズやフジなどのツル草が一気に蔓延します。ツルを刈り取るだけでは、毎年芽吹きますのでツルの根元を掘り起こして切り取ります。蕾が膨らむ六月に、メンバール協力して駆除作業を行いました。

球根の植栽ばかりでなく、三年前から植栽地の一角にヤマユリの種や木子の育苗地を設けています。この春、漸く、種の発芽、植栽した木子の芽吹きも多数確認できました。踏み荒らさないように柵がこいを作りました。

緑地には、ヤマユリの病害虫が多く、今年、早めに薬剤散布を行いました。開花直前の茎が数本倒れてしまいました。保全管理の難しさを痛感しています。



ヤマユリの植栽地は、横約一五〇メートル奥行き約三〇メートルの東南向き斜面です。この緑地は、ヤマユリの自生地として再生させるためにポランティア「かわさき自然と共生の会」のみなさんと協力して管理保全を進めています。

市民館地区：
二年前から**市民館裏の空き地**を整地して、種から栽培する育苗地を管理してきました。

今年、二年目の春、念願の発芽を確認できました。側にある小高い丘に球根も植栽しました。区役所を訪れるみなさんの癒しになれるかと励んでいます。



細山地区：**授産学園緑地**（作業日適宜）
昨年、秋、授産学園の協力で学園内の東向き斜面に、球根一〇球と木子四〇球を植栽しました。この春、順調に芽吹き、蕾が膨らみを増してきました。学園との植栽地管理の調整不足で五月下旬に下草がすべて刈り取られてしまいました。

薬剤散布等を行いました。学園の側にある緑地のヤマユリと比べても、ほとんどの株が病気にかかり生育が思わしくなく、今後、どのように取り組んで行くか課題を残しています。

Q&A
梅雨時期の鉢植え管理方法は？

- Q1: 種の鉢の置き場所？
A1: 寒冷紗等で覆って、東側や東南の花台の上に置きます。寒冷紗は、害虫よけにも暑さよけにもなります。お勧めします。雨に当たるとナメクジが這い上がったり、泥跳ねが鉢に付着し細菌に冒されたりします。花台（鉢台）の上において管理しましょう。花台を庭木の中に置くのも陽光の照り返しを防ぐのに良いでしょう。
- Q2: 薬剤散布のしかた？
A2: アブラムシが飛ぶ四・五月には、早々にベンレート五〇〇倍液とオルトラン一、〇〇〇倍液（混合液）を散布しましょう。茎や葉に散布する場合は、スプレーでも間に合いますが、鉢の中も殺菌殺虫するときは、ジョロに薬剤を仕立て鉢底から液剤が漏れ出るまでしっかりとかけます。
- Q3: 球根の鉢植えは、芽吹きから開花するまで三回程は薬剤散布をしたいものです。
A3: 球根の鉢植えには、水のやり方は、特段の注意は必要はありませんが、種の鉢植えは、水やりに繊細さが必要です。強すぎると種が剥き出しになり発芽を阻害となります。そこで、ジョロの使用は、写真のように口金穴が下向きにして
- Q4: ジョロの使い方がうまいかな？
A4: ジョロの鉢植えは、水やりに繊細さが必要です。強すぎると種が剥き出しになり発芽を阻害となります。





日本人とヤマユリ

ヤマユリと日本人は、いつ頃からつながりがあったのでしょうか。

古事記(712年)には、神武天皇が伊須気余理比売命(いすけよりひめのみこと)を妃とされた由来が書かれている箇所に、「山由理草(やまゆりそう)」が出てきますが、ここでも山由理草とは、西日本に分布するササユリを指しています。

万葉集(759年)には、十一首ユリを題材とした歌が取り上げられています。ほとんどが特定のユリを題材としたものなのか判別し難い内容です。その中に一首だけヤマユリを題材としたと判る歌もあります。

「筑波嶺の佐由流の花の夜床にも愛しけ妹ぞ昼も愛しけ(つくばねの さゆるのはなの ゆどこにも かなしけいもぞ ひるもかなしけ)」(巻二十四369)

これは常陸国出身の防人が故郷の筑波山のヤマユリを思い出しながら妻を思った歌で、分布から考えてもヤマユリを指しています。

一方、時代が下った江戸時代は世界的にも高水準の国産園芸書が出版される時代でもあり、ユリについても記述があります。ところが、例えば、花壇地錦抄(1694年)では、ヤマユリについては明確な特徴を記載しつつも名称を「ささゆり」としており、古事記とは逆となっています。他の著名な園芸書にもヤマユリとササユリとの名称の混同が見られます。

また、この時代の園芸書は、栽培指針や品種改良に関するものも優れたものがあるのですが、何故かユリについては、スカ



増補地錦抄(1710年)より左ページの右上の花が「すぢゆり(丸印は筆者加筆)」(神奈川県立大船フラワーセンター所蔵品)

シユリのような例外を除いて、この分野での記述がありません。(ただし、ヤマユリでは現在の紅筋と考えられる「すぢゆり」等、山野でみられる珍しいユリは数多く紹介されています。)

これは、花は元々美しいのだが自生が多く栽培の必要がなかったというよりは、栽培植物としては非常な難物で、当時は山野で鑑賞する植物だったのではないかとともに考えられます。「山百合」の名称も山地に自生が多いことからきた名前であり、現在でも、その地方に自生の多いユリを「山百合」ということがあるようです。長らくヤマユリとササユリの名称に混乱があったのも、このような理由によるものと思われる。

それまで山野で楽しむ花であったヤマユリも、明治期に入ると激動の時代を迎えます。次回はヤマユリが西洋に紹介されるまでの経緯を取り上げます。

ゆっくり注ぎしよう。上向きだとゆっくり注いでも水が一筋となつて落ちて覆土に穴が開き種が剥き出しになります。



Q4: 春先の鉢の植え替えは?

A4: してはいけません。春になると園芸の草花の植え替えシーズンになります。このためヤマユリも植え替えるのではないかと思われるかもしれませんが、株に触っては行けません。この季節、ヤマユリは芽吹きと共に上根がどんどん伸び、養分を吸収しぐんぐんと生長していきます。こんな時節に触るとウイルス

スに感染し、いろいろな病気を発症することになります。秋の休眠期まで待つてから植え替えしましょう。

Q5: 葉が縮れたようにだが、葉が落ちてきたが?

A5: ウイルスに感染している可能性が高いため、その年は、何とか咲くかもしれませんが、花が縮れたり、症状が重い場合は、蕾も付かなかつたりすることがあります。

こういった症状が出ると回復は無理ですので、側に他の鉢がある場合は、感染を防ぐため、処分しましょう。



▲縮れた葉のヤマユリの上根は伸びているが、下根はほとんどない

▲葉枯れ病

神奈川県立百合丘高校



校名の由来に想いをつなぐ
PTA環境委員会の活動
“ユリいっぱいの校庭にしたい”

●春四月になると昨秋植えたユリの球根が芽吹き、薬剤散布の作業のために県立百合丘高校のPTA環境委員会の若いお母さん方一〇数名が集まりました。

●昨年の初秋、PTA環境委員会からヤマユリ植栽の仕方についての指導の依頼を受けました。「数年前から校庭のユリいっぱい活動に取り組んでいるが、なかなかうまく育たない」とのこと、お話を伺いました。

●校庭のあちこちに園芸シヨップで買い求めた球根を花壇に植えるような感覚で植え付けられています。カサブランカ、カノユリ、ヤマユリなどが数百株。

●今年も五〇〇球のユリを校庭の花壇や鉢植え、そして樹木のある斜面にも植栽したとか。ユリの植栽の適地について、環境委員会の皆さんに事前に助言はしておきました、とてもユリの育ちそうにない花壇・校庭の崖際にも植えられるので、情熱はわかりますが、いささか驚きました。学校長曰く「今年は咲いてくれるだろうね。いろいろなところでPRしたからね」と心配顔でしたが・・・

●四月〜六月初旬まで、何回か薬剤散布を行い少しでも多くの株が開花期を迎えられるように委員会のメンバーと薬剤散布を行いました。

◆23年度 年次総会開催

今年度、麻生ヤマユリ植栽普及会は、発足3年目の役員改選期を迎え、活動計画・新役員が決まりました。

◇日 時：平成23年度 4月 26日

午後2時〜4時

◇年次総会出席者：16名 委任状4名
会員数20名、総会成立

◇議事：

〈第1号議案〉

平成22年度活動報告、平成22年度会計報告および会計監査報告（区役所からの委託事業含む） 全員一致で承認

〈第2号議案〉

平成23年度活動計画案、平成23年度会計予算審議（区役所からの委託事業含む） 全員一致で承認

〈第3号議案〉

役員改選年度にあたり新役員に関する件

〈23年度〜24年度 新役員〉

- 会長：貞本勉（事務局担当）再任
- 副会長：高橋雄介（会計担当）再任
- 副会長：麻場広子（会計担当）再任
- 会 計：島田由江 新任
- 会計監査：坂野純一 再任

会員募集中

地域のボランティアのみなさんと一緒にヤマユリに親しみながら緑地で汗を流してみませんか。

年会費：1,200円

定例会議：原則、毎月第4木曜日午後（9月まで）

会 場：交流館 やまゆり

植栽活動：指定の各緑地（月に1回〜2回）

★問合せ・連絡先：当会会長（事務局）貞本 勉

TEL：090-7175-4995

E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定

7月～11月の主な予定

- 7月初旬 麻生区内ヤマユリ植栽地開花散策会（開花マップデータの収集）
- 7月初旬 開花ヤマユリ鉢展示（麻生区役所）
- 10月 ヤマユリ植栽地の下草刈り
- 11月 ヤマユリ鉢植え・植え替え講習会
ヤマユリ植栽活動（6か所）